

第2回越前おおの空家等対策計画策定協議会

日時：令和3年9月28日（火）

午前10時30分～正午

場所：大野市役所 大会議室

1 会長あいさつ

第2回の空家等対策計画策定協議会を開催する。今回、計画の骨子案が出揃った。空き家問題というのは、個人の問題ではあるものの、地域社会、まち全体の問題としていかに捉えていけるかが重要。今回、そのような内容になっていると見受けられるため、活発な意見をいただき修正等していきたい。よろしくお願ひしたい。

2 報告事項

(1) 空家等実態把握調査の現地調査結果（速報）について

資料に基づき、7月から8月末にかけて実施した空家等実態把握調査の現地調査結果速報を報告。調査対象物件1306件に対し827件が空家等に該当すると思われる。5年前の平成28年は679件を調査し空家等は528件。

(2) その他 空き家対策の取組報告（第1回協議会以降）

資料に基づき、第1回計画策定協議会以降の取組状況を報告。特定空家等専門部会の開催、空き家を含むまちづくりに関する地区別意見交換会の開催状況などを報告。

[委員の皆さんからの主な意見]

- 5年前の前回と今回の調査で調査対象の抽出の仕方が変わっているという説明があったものの、いずれにせよ空き家率が軒並み上がっており、やはり予想通り深刻な状況がうかがえると感じた。
- 大野地区と和泉地区とで出された意見の傾向が違い興味深い。やはり、大野地区は民間ベースでの土地の売買が行われている違いがあるか。

3 協議事項

(1) 所有者等へのアンケート調査について

資料に基づき、前回調査の概要と今回の見直しのポイントを説明。特に、冒頭の問1、2を問1～3に変更し、詳細な設問に至る人数を増やしていきたい。問5以降の設問・選択肢の内容は、継続性を考慮し、概ね前回と同様としている。

(2) 空家等対策計画の骨子案について

資料に基づき、空き家特措法に定められた記載内容と新旧の計画の目次の関係を説明。2章の2-5に課題を整理（現在の内容は第1回協議会の課題を記載）、3章に基本理念などを記載、理念の一つとして「自助、共助、公助、専門家等」を記載（従前の記載からグルーピングを変更）。3-2の「目指す姿」は今回新たに追加。4章に空き家対策の施策を記載、4-1に各プレイヤーの取り組みの全体像をマトリクスにして記載、4-2は個別の施策。5章は相談窓口や進捗管理、目標指標（指標は今

後設定) を記載。

[委員の皆さんからの主な意見]

- アンケート調査について、前回の回答率約55%とのことだが、今回、回答率を高めるための工夫は考えているか。
- 空家等の所有者情報の入手は税務課の課税情報と法務局の登記情報までか。所有者が登記上等わからないものは、どうしようもないものの、例えば、アンケートを送ったが返ってこない場合、自治会長らに相談し協力を得て管理者の方にアンケートを渡してもらい、そういったことも考えられる。
- 前回アンケートもそうだが親切心からか回答の仕方が思い浮かばないのでは? という点を考えすぎるあまり、膨大な選択肢を与えているように思う。
- まだまだ増える空き家や空き家への対策。これに関して、個人情報や公表できない部分もあるが、空き家や空き家対策として行われた成果に関する情報を広く市民にお知らせする。そういう取り組みも大事。
- マトリクスはとてもよくわかる。誰が主体となってどの状況でどう働きかけるのか、ということがわかる。あとは、中身のブラッシュアップをこれからやっていく、一つ一つの施策はこれから。

4 意見交換

5 その他